

ぷろほ ニュース vol.1

〒810-0023 福岡市中央区警固1-13-15 404 Tel&Fax : 050-1356-3923

URL : <http://pro-ho.jp/info/> E-mail : office@pro-ho.jp

発行日 : 2011年9月20日

発行 : 子どもと保育研究所 ぷろほ

特定非営利活動法人 子どもと保育研究所 ぷろほ

2011年9月11日 設立総会 無事に終了～

於 : アジア太平洋インポートマート (AIM) フラミンゴカフェ



9月11日(日)、来年からの教室予定であるAIMに於いて、子どもと保育研究所 ぷろほの設立総会が開かれました。当日は28名(正会員18名中15名、お客様13名)の出席で、全ての議案について可決いただきました。これからNPOの申請に向けて書類の整理や議事録の確認を行なっていきます。ご協力の程宜しくお願いたします。

事業内容

講座内容

子どもと保育研究所「ぷろほ」では、下記の講座を開講します。

- ①保育総合研究講座
- ②保育心理士講座(保育心理士資格)
- ③言語療法(幼児)講座(保育言語セラピスト認定)
- ④アートセラピー講座(アートセラピーコーディネーター資格認定)
- ⑤感覚統合あそび講座
- ⑥子どもの権利と虐待予防講座
- ⑦タッチケア講座
- ⑧子育て支援アドバイザー講座

受講期限と費用

1. 年に3回、春期(5~7月)、秋期(9~11月)、冬期(1~3月) 3か月コースで開講されます。※月~土曜日の終日授業
2. 入学申込金 10万円(申し込み時)
受講料(3か月分) 40万円

募集人数と対象

定員は各期 25名(年間75名)

受講資格としては保育者関連資格を有することを前提とする。

科目履修生について

その科目のみを学んで専門性と実践力を身につけたい方のために科目履修生を1科目単位(6~10コマ)で受け入れる。

1科目あたり定員5名。

科目履修受講申込金 1科目1万円

科目履修受講料 1コマ3千円×コマ数(受講開始時に前納)

役員

には、この方々が承認されました。

理事長	山田 眞理子	(九州大谷短期大学)
常務理事	黒田 秀樹	(きらきら星幼稚園)
	村上 里絵	(光沢寺中井幼稚園)
理事	小川 直美	(画家)
	大屋 省子	(声楽家)
	吉柳 三枝子	(元公立保育士)
	北野 久美	(あけぼの保育園)
	桑門 超	(ルンビニ幼稚園)
	重永 侑紀	(NPO法人 にじいろCAP)
	新開 英二	(エイデル研究所)
	荘田 朋子	(そうだレディスクリニック)
	原 陽一郎	(九州大谷短期大学)
	牧野 桂一	(筑紫女学園)
	村上 順滋	(あかつき幼稚園)
	森 浩明	(北九州市市議会議員)
	脇元 美穂	(ぷろほ事務局)
顧問	藤岡 佐規子	(光沢寺第二保育園)
	笠 信暁	(筑紫女学園)
	脇淵 徹映	(大谷保育協会)
	馬場 俊一	(SHUN心療クリニック)
監事	三宅 玲子	(NPOもしもしキモチ)
	江藤 文仁	(江藤税理士事務所)

【 目次 】

設立総会報告	1 P
設立への想い	2 P
寄せられたメッセージ	3 P
お知らせ	4 P



想 い

理事長 山田真理子

ここに「子どもと保育研究所ぷろほ」がスタート台に立てました事を、これまでお世話になった方々に、心より感謝申し上げます。

この研究所は、現役保育者のスキルアップの学びの場のみならず、休職中の保育者や転職を考えている保育者のリフレッシュ・リカレントの機会、短大・大学などの保育者養成校を卒業した学生の進学先、これから保育現場のアドバイザーとなる心理士たちの学びの場、さらには将来園のリーダーとなる園長の子弟やお嫁さんの学びの場として、これから保育に関わる様々な立場の方々の足がかりとなることを願って設立されました。

「保育心理士」「感覚統合」「言語治療」「虐待予防」「タッチケア」「保護者支援 (NP)」などを3か月で集中的に学びます。

「子どもの心に寄り添える保育者」は私の生涯の願いでした。育児休暇を11年、職場に完全復帰するまでは15年かけた私は、遅まきながら2000年に保育心理士の資格を立ち上げ、いま全国に1300人を超える資格取得者がおります。しかし、現場の子どもたちの状況は、その間決して改善されていません。戦後作られた「最低基準」が、まるで最高基準であるかのように打ち砕かれてゆく日本の保育の現状は目を覆うばかりです。

また、臨床心理士や発達臨床心理士が保育の中にアドバイザーとして入ってきたときに、心理のことしか知らないために現場としてはとてもアドバイスが空論的であることは多くの園から訴えられることです。そのような、保育現場に関わる心理士やカウンセラーが研究所で3か月の学びを経て保育・教育現場のアドバイザーとなってくれることも、この研究所の願いです。ここでは保育者が学ぶという一方通行ではなく、心理士(師)の方からも保育に近づける橋渡しができると思っています。

もう一つ、恩師河合隼雄先生のごことが、今の私の原動力でもあります。河合先生の遺影に「そちらに

行った時には、またお話聞かせて下さいね」と話しかけた時、私の耳に河合先生のお声が「あんたも、ちゃんと話せることしてから来(き)いや」とはっきりと聞こえたのです。その時私は、「このままで一生を終わったら河合先生に合わせる顔がない。保育と心理を繋ぐ分野を私なりにしてからでないと、浄土に行って河合先生に会えない」と直感したことが、この研究所設立の後押しとなりました。

幼保一体化の波、虐待や子育て不安の行方など、子どもを取り巻く実情を見ますと、とても不安定な状況にいることを皆さん感じておられるかと思えます。

どれに目を奪われても足元は暗闇に思え、先が見えない思いです。しかし、そのような中で「いま、子どもたちに必要なことは・・・」という一念を心に抱いた時、一本の細い道が私に向かって伸びているのが見えてくる気がしたのです。そしてそれは暗闇が増せば増すほど、あたりが揺らげば揺らぐほど、明るくまっすぐに見えてきたのです。それは「子どもたちが側にいてほしいと願う人は社会や制度がどう動こうと変わらないのだ。そんな人を育てる場をつくらう」と私に思わせてくれるものでした。

子どものために学びたいと願う皆さんのご意見を取り入れながら、研究所はこれからもどんどん役に立つものに変化してゆきます。

これからこの研究所での学びが、子どもを照らす一筋の灯りとして、どんなにわずかな光であっても、行く手を示すものになればいいなと願っています。どうぞ皆様のご指導・ご協力をよろしく願います。

2011年9月11日
特定非営利活動法人設立総会の日に





設立総会への メッセージ

お久しぶりです。
子どもと保育研究所設立、おめでとうございます！
お元気でご活躍の気配、嬉しいです。
総会にはお伺いできませんが、はるか遠くより
ご盛会をお祈りします。
どうぞお体お大事に。

くどうなおこ（詩人）

ぷろほ案内を拝読し、「ご活躍ですね」と
返信しようと思っていたら、
思いがけないメールに驚いています。
先生が教員でいらっしゃることで、そして、
そこでのご活躍に敬意を表していましたので、
少し残念に思います。
でも、現職保育者のキャリアアップは、
現在の保育界の最大の課題といってもいいかと
思います。
そこにご尽力いただけることは、保育界にとっては
大きな力になるのではないかと思います。
今後のご尽力に心より期待するとともに、
今後ともご教示のほどよろしくお願いいたします。
これまでのご厚情に心からの感謝とともに。

柏女霊峰（淑徳大学）

『子どもと保育研修所ぷろほ』の設立、大変
おめでとうございます。
心よりお祝い申し上げます。先生方のご活躍は
すごいですね。意気込みを強く感じながら、
その素晴らしさに感動しております。
『子どもと保育研修所ぷろほ』の今後の益々
のご発展を祈念しながら、
取り急ぎお返事申し上げます。

砂山保育園 上村初美（全国保育士会会長）

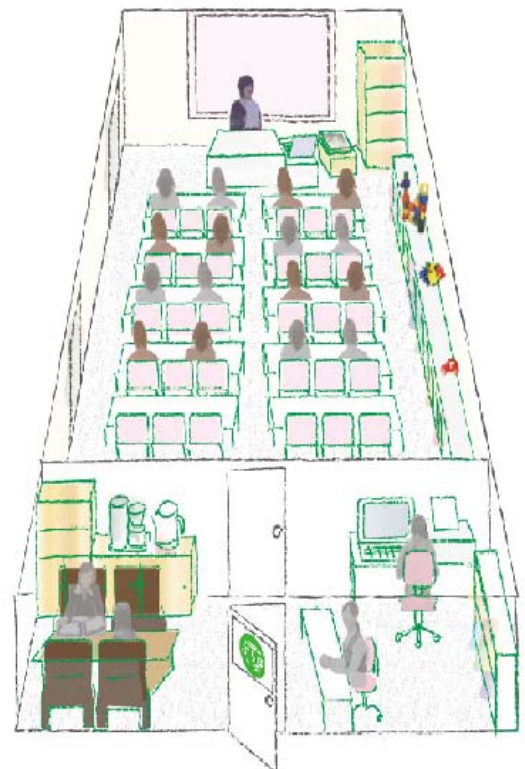
子どもと保育研究所設立おめでとうございます。
今日は、総会に駆けつけることが
難しかったのですが、この研究所の意義を保育の
現場で働き、子ども達と長年関わってきたもの
として、痛感しています。
微力ながらこの活動の応援をかげながらですが、
させていただけると嬉しいです。

河西（四国の保育心理士）

10月からは放送大学の大学院に1年間、
臨床心理学科の単位を取っていくため、
入学することになりました。
保育士と臨床心理士は、ちょっと角度が違う
ところがあるように感じますが、
臨床心理士の角度も、今後は益々、必要に
なるように感じています。
色々な気持ちの迷いの中で、先生からいただいた
前回のメールを読んだ後で、躊躇っていた入学を
決めました。これからもよろしくお願いいたします。

和田（高知の保育心理士）

< 教室予定図 >





懇親会

懇親会は、総会后教室予定の場所を見学してから、ふたたびフラミンゴカフェで行われました。

理事長山田から皆様へ、感謝のことばと設立の想いの挨拶の後、大屋省子様からすばらしい祝いの歌を披露していただきました。

乾杯の後は、食事をとりながら、それぞれご歓談いただきました。

たくさんの方々から、ご祝辞をいただき、ぷろほへの想いをそれぞれに再確認し、共有できる場となりました。

最後に、「こんひとつぶ」をみんなで歌いました。わずかな練習でしたが、とてもすばらしい歌声でした。歌声が会場を包み込み、あたたかい雰囲気になりました。

こんひとつぶ♪

こんひとつぶは 金になれ
こんひとつぶは 銀になれ
こんひとつぶは 灯りになって
よるの海に 灯をともせ
よるの海に 灯をともせ

仏教讃歌より

入会・ご支援・ご協力をお願い

子どもと保育研究所では、NPO法人の正会員として一緒に活動して下さる方や、活動をご支援下さる方、チラシやパンフレットの配布先をご紹介下さるなどのご協力をいただける方を募集しています。

正会員：入会金 5000円 年会費 5000円
支援会員：個人1口5000円、団体1口10000円



広報資材：チラシ、パンフレット、ポスター、カードがあります。百枚、千枚単位でもお送りしますので、下記にご連絡ください。

【お申し込み・資料請求】

Fax.050-1356-3923 (24時間受付)

あともがき

いままで、たくさんの方々との出会いに恵まれて生きてきました。それは今私の宝でもあります。還暦を迎え、これからの人生で何をしたいかと考えた時、未来の宝である子どもたちの声をちゃんと受け止められる保育者たちを育てたい…との思いにたどり着きました。多くの保育に関わる方々が、このぷろほから巣立って行かれることを願い、ぷろほを支えて下さる皆様へのお願いと感謝といたします。

山田真理子

特定非営利活動法人

子どもと保育研究所 ぷろほ

〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野三丁目8-1

アジア太平洋インポートマート(AIMビル)内 4F (予定)

TEL&FAX 050-1356-3923

E-mail:office@pro-ho.jp

ホームページURL:http://pro-ho.jp

ぷろほ

検索

(準備室)

〒810-0023福岡市中央区警固1-13-15-404

TEL&FAX 050-1356-3923

E-mail:yamada@pro-ho.jp

